



歸國出張員 菅 泉 並 野 淵
「赤山メーデー」取組ニ臨場スルカ」ノ旨
赤山メーデーノ「赤山メーデー」取組ニ臨場スルカ」

大淵支店長 録 本 淵 村
昭和八年一月二十六日

赤山メーデー

財団法人協同會大阪支所

赤山メーデー如何ニ組織スルカ

メーデー(五月一日)ハ全世界ノ労働者階級ガ同日ノ同日時間
ニ一齊ニ起ツテ、ソノ支配権力(採取機關ノ執行機關)ブルジョア
政府)ニ向ツテ採取制度ニ對スル抗議トシテノ一大デモンストレ
ーション(示威運動)ヲ組織シ、採取制度ヲ顛覆シ支配権ヲ奪取スル
所ノ闘争ヘノ第一歩トシテ闘フ日ダ。採取制度ガ國際的ニ基礎ツケ
ラレテキルノダカラ、ソレヲ粉碎スル闘争ハ支配権力ヲ奪取シ労働
者階級ノ解放ノ闘争ハモ現實ニ國際的基礎ノ上ニ立ツテキレバ勝利
ヘノ闘争ノ第一歩トハナリ得ナイ。此ノ意味ニ於テメーデー闘争ハ
政治的ニ重要ナ意義ヲ持ツノダ。メカラムエーデーハ労働組合ノ専有
物デアツテハナラナイシ、支配階級ノ「オ許シ」ヲ得テオ祭願デア
ツテハナラナイノダ。
況ンヤ支配階級カラ「指定サレタ道筋」ヲ葬式行列ノ様ニ、オトナ
シタスバイ官憲、憲兵共ニ護衛サレテソノ行進スル様ナモノ